

習志野市教育委員会会議録
(平成22年第8回定例会)

- | | | | | |
|---|------|------------------|---------|-----|
| 1 | 期 日 | 平成22年8月25日(水) | | |
| | | 習志野市教育委員会事務局大会議室 | | |
| | | 開会時刻 | 午後3時00分 | |
| | | 閉会時刻 | 午後3時35分 | |
| | | | | |
| 2 | 出席委員 | 委員 長 | 青 木 | 克 己 |
| | | 委 員 | 鈴 木 | 大 地 |
| | | 委 員 | 澤 村 | 洋 子 |
| | | 委 員 | 星 野 | 龍 人 |
| | | 委 員 | 植 松 | 榮 人 |
| | | | | |
| 3 | 出席職員 | 教育総務部長 | 柴 崎 | 一 雄 |
| | | 学校教育部長 | 押 田 | 俊 介 |
| | | 生涯学習部長 | 藤 田 | 勉 |
| | | 教育総務部参事 | 若 林 | 一 敏 |
| | | 学校教育部参事 | 諏 訪 | 晴 信 |
| | | 学校教育部参事 | 井 上 | 隆 夫 |
| | | 学校教育部参事 | 染 谷 | 昭 子 |
| | | 学校教育部参事 | 木 原 | 誠 |
| | | 生涯学習部次長 | 早 瀬 | 登美雄 |
| | | 生涯学習部副技監 | 及 川 | 隆 志 |
| | | 生涯学習部副参事 | 井 澤 | 元 行 |
| | | 企画管理課長 | 飯 島 | 稔 |
| | | 施設課長 | 飯 塚 | 和 夫 |
| | | 学校教育課長 | 江 口 | 和 夫 |
| | | 指導課長 | 辻 | 利 信 |
| | | 総合教育センター所長 | 大 野 | 博 之 |
| | | 社会教育課長 | 星 | 昌 幸 |
| | | 生涯スポーツ課長 | 松 岡 | 秀 善 |
| | | 青少年課長 | 寄 主 | 義 之 |
| | | 青少年センター所長 | 田久保 | 正 彦 |
| | | 菊田公民館長 | 岡 野 | 布治平 |
| | | 新習志野公民館長 | 鈴 木 | 正 敏 |
| | | 教育総務部主幹 | 牧 野 | 岳 彦 |
| | | 教育総務部主幹 | 宮 崎 | 雅 博 |
| | | 教育総務部主幹 | 佐々木 | 重 春 |
| | | 学校教育部主幹 | 江 川 | 陽 史 |
| | | 学校教育部主幹 | 鈴 木 | 博 |
| | | 学校教育部主幹 | 江 口 | 浩 雄 |
| | | 学校教育部主幹 | 土 屋 | 美恵子 |
| | | 学校教育部主幹 | 菊 池 | 美枝子 |
| | | 生涯学習部主幹 | 浅野目 | 俊 紀 |
| | | 生涯学習部主幹 | 関 | 文 雄 |

4 会議内容

委員長が

平成22年習志野市教育委員会第8回定例会の開会を宣言

委員長が

会議規則第15条の規定により、議案第35号を非公開とすることについて諮り、全員異議なく非公開と決定された。

委員長が

本日の日程について、議案第35号を協議事項の後に審議することについて諮り、全員異議なく提案どおり決定された。

委員長が

平成22年第7回定例会の会議録について承認を求め、全員異議なく承認された。

報告事項(1) 平成22年度教育費予算案(9月補正)について

(企画管理課)

企画管理課長が

平成22年習志野市教育委員会第7回定例会で承認をいただいた、新習志野図書館空調設備改修事業における、平成22年度教育予算案(9月補正)について、財政部と協議を重ねた結果、市長に申し入れた内容で内示をいただき、平成22年習志野市議会第3回定例会に提出することとなったので報告するものである。なお9月議会で承認をいただいた後、速やかに更新にかかる工事、発注を行う予定である、と概要を報告

委員長が質疑なしと認め、報告事項(1)は了承された。

議案第34号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

(企画管理課)

企画管理課長が

議案第34号は、平成22年習志野市教育委員会第7回定例会において協議していただいたものであり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき、平成21年度の事務の管理・執行状況を対象として点検・評価を行い、取りまとめたものである。前回、協議した意見等をふまえ、修正等を行い、今回、議案として提出した。

教育総務部主幹が

主な変更点として、まず、「生きる力」の基礎を培う幼児期における教育の充実について、前回「幼児教育について、前年度の実績に基づいて、もう少し細かく書いた方が良い」との意見から、魅力ある幼稚園の説明として「幼児自らが周囲に働きかけ、主体的に学ぶ魅力ある幼稚園教育」という部分を追加した。

次に、「生きる力」を育む小中学教育の充実について、前回の「道徳教育、心を育む教育についても重要なのでそれについても掲載した方が良い」との意見から、新しい学習要領の趣旨を生かした道徳教育の推進についての取り組みを新たに追加した。また「不登校の未然防止に向けた取り組みはもっと積極的に記述した方が良い」との意見から「電話相談、訪問相談、来所相談、指導主事の学校訪問」という具体的な形での取り組みの部分を追加した。

安全で潤いのある学校教育環境の整備については、前回の「室内の環境だけではなく、健康面から、緑多い外の環境も重視すべきだ」という意見から、校舎外の環境整備の重要性についての項目を追加した。

このように、前回の協議を踏まえ、トータルで9つの項目を追加・変更し、平成21年度を対象とした教育に関する事務の管理執行状況の平成22年度点検評価及び報告書案を議案として提出するものである、と概要を報告

委員が

この点検評価につきましては、何回か協議を続けてきて、このような形でまとめ、前回の我々の話がきちっと盛り込まれていると思う、と発言

委員が

前回、かなり細かいことも指摘したが、非常に良い形でまとまっていて非常に満足である、と発言

委員が

毎年、点検評価を繰り返してきているが、今回特にわかりやすい形で様式が少し変えられ、きちんとまとめられている。日ごろの教育委員会事務局の熱心な仕事があってこのような形でまとめられたということは、市民にもよく理解がいただけるのではないかなと思う。

今後の課題もそれぞれの項目について記されている。課題がなくなってしまうのは、あるいはそれに対する対策がなくなってしまうのは、教育現場は停滞してしまう。良い結果が出ているとは言え、さらにそれを伸ばしていくためには、今後とも課題をきちんと消化しながら、対策を考えながら、前に進んでいかなければならない。

教育委員会事務局の皆さんは、本当によく働いていると思うが、やはり現状に満足するのではなく、前に進んでいただけたらと思う、と発言

委員長が質疑なしと認め、採決の結果、議案第34号は全員賛成で原案どおり可決された。

議案第36号 平成23年度習志野市立幼稚園及び習志野市立東習志野こども園（短時間児）園児募集要項について

（学校教育課）

学校教育部主幹が

習志野市立幼稚園管理規則及び習志野市立こども園の管理に関する規則の規定により、平成23年度習志野市立幼稚園及び習志野市立東習志野こども園（短時間児）の園児募集

方法等について定めようとするものである。

今回の募集要項については、内容は例年通りとなるが、杉の子幼稚園の募集人員を、例年70人の募集のところ、52人とする。これは、杉の子幼稚園が、平成24年度から、保育所の機能を有した（仮称）杉の子こども園として開園することを予定しており、今回募集する杉の子幼稚園の4歳児については、平成24年度のこども園としての開設時には、年長の5歳児となるが、こども園となって短時間児の定員が減少するためである、と概要を説明

委員長が
募集人員以外は例年と変更はないか、と質問

学校教育部主幹が
変更はない、と回答

委員長が他に質疑なしと認め、採決の結果、議案第36号は全員賛成で原案どおり可決された。

協議第1号 次回教育委員会の期日について協議し、平成22年9月21日（火）
午後3時に決定された。

<議案第35号は非公開>

議案第35号 習志野市文化財審議会委員の委嘱について

(社会教育課)

社会教育課長が
習志野市文化財保護条例第19条第1項及び第2項の規定により、委嘱するものである、と概要を説明

採決の結果、議案第35号は原案どおり可決された。

委員長が
平成22年習志野市教育委員会第8回定例会の閉会を宣言